

令和4年4月22日  
教育委員会郷土博物館金のすず  
0438-23-0011

## 『金鈴塚古墳と古墳時代社会の終焉』 刊行のお知らせ

木更津市教育委員会と国立歴史民俗博物館が3期9年（平成23年3月1日～平成31年3月31日）にわたり進めてきた共同研究事業の成果として、『金鈴塚古墳と古墳時代社会の終焉』が歴博の研究成果公開助成を受け、出版されました。

以前の成果として『金鈴塚古墳出土品再整理報告書』および一般向け『金鈴塚古墳出土品ガイドブック 煌めく金鈴塚』を刊行しております。今回の刊行物は、それらをふまえて「金鈴塚古墳から古墳時代後期がどのようにみえるのか」をテーマに共同研究者が執筆しています。

### 1 書誌情報

発行部数：650部 刊行：2022/03/31 判：B5  
ページ：カラー4+本文265 ISBN 9784864451604  
出版社：六一書房 販売価格：4,000円+税

### 2 目次

#### 第1部 金鈴塚古墳の概要

- ・金鈴塚古墳の墳丘・埋葬施設 ・金鈴塚古墳の副葬品

#### 第2部 「装い」とその機能・意義

- ・古代の鈴と鈴飾りの歴史的意義
- ・金銀装大刀からみた金鈴塚古墳の被葬者像
- ・武器と副葬品と軍事編制
- ・金鈴塚古墳出土馬具群の構成とそれらが意味するもの
- ・金系と繊維製品
- 金鈴塚古墳出土品からみた当時の染色技法・用途—

#### 第3部 儀礼具としての容器

- ・土器からみた儀礼様式と金鈴塚古墳
- ・金鈴塚古墳出土銅甕と「伝金鈴塚出土銅甕」の検討

#### 第4部 金鈴塚古墳を相対化する視点

- ・金鈴塚古墳と古墳時代後期の社会
- ・房総の後期前方後円墳からみた首長権と金鈴塚古墳



・古代国家形成期の王権と東国

### 3 執筆者等

（編集・執筆）上野祥史（国立歴史民俗博物館研究部 准教授）

（執筆）稲葉昭智（木更津市郷土博物館金のすず副館長）・田中 裕（茨城大学人文社会科学部教授）・大谷晃二（島根県立三刀屋高等学校教諭）・内山敏行（公益財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター調査課副主幹）・宮代栄一（朝日新聞社編集委員）・沢田むつ代（東京国立博物館・奈良国立博物館客員研究員）・藤野一之（駒澤大学文学部講師）・桃崎祐輔（福岡大学人文学部教授）・仁藤敦史（国立歴史民俗博物館研究部教授）